

愛知県知多市佐布里地区で見つけたアギトアリ

技術士(衛生工学部門、生物工学部門)

環境カウンセラー(事業者部門)

本堀 雷太

●アギトアリ(*Odontomachus monticola*)とは

アギトアリは東南アジアを中心とする熱帯・亜熱帯地域に分布するハリアリ亜科に属するアリの仲間で、森林内で生息しています。我が国では鹿児島県以南に分布するとされていますが、近年、岡山県や大阪府、三重県、神奈川県など本州の数か所で定着が確認されています。本来、南方系の種であるアギトアリの本州地域への分布域の拡大は、地球温暖化の影響であるとの指摘もあるが、真偽は明らかとなっていません。

働きアリの体長は1cm程度と大型で、広く開く事が可能な大顎と、ハリアリの仲間に特徴的な尾部の毒針を備えています。肉食傾向の強い雑食性で小型の昆虫などを捕食します。

今回は愛知県知多市佐布里地区でアギトアリの個体を偶然発見しましたので、以下に撮影した写真を示します。

●佐布里で見つけたアギトアリ



